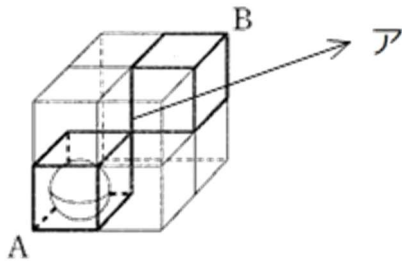


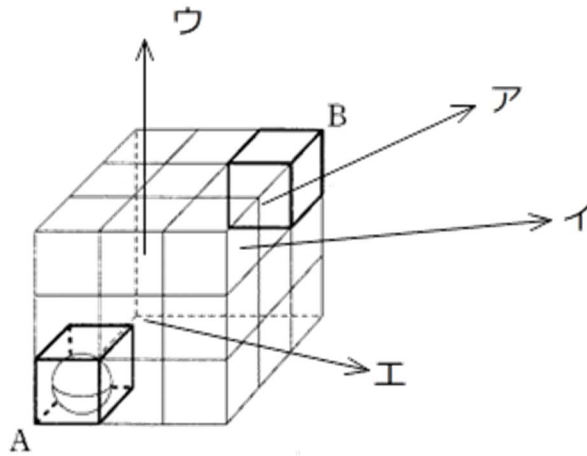
算数オンライン塾 10月1日の問題 解説

(1)



AとBの間を最短で結ぶ立方体は4個
 3回でAの下が空きます。
 するとアの位置まで3回。このとき下が空いているのでBの位置まで3回なので、合計9回です。
 (答え) 9回

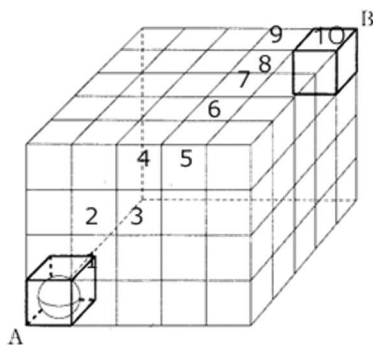
(2)



AとBの間で最短で結ぶ立方体は7個。
 したがって5回で空くマスがAの上に行き、6回で白玉がAの1つ上に行きます。
 その下が空くので、エまで3回。ウまで3回。イに行くのに3回。アに行くのに3回、Bに行くのに3回なので、
 $6 + 3 \times 5 = 21$ 回
 (答え) 21回

(3)

AとBの間に最短で結ぶ立方体は11個、したがって10回でAの上まで行き、白玉は11回でAの上に入ります。その後、図のように10個すすむので1個に3回かかるから $11 + 3 \times 10 = 41$ 回



(答え) 41回